「七破風の家」におけるモールの井戸

Maule's Well in *The House of the Seven Gables*

川　口　洋　子

序

The House of the Seven Gables は，New England の十五世紀から十七世紀までの二世紀にも亘る古い家柄の Pyncheon 家を扱った作品である。彼等は十五世紀に建てられた七つの破風のある家に代々住んできた。その庭には Maule's Well と呼ばれる泉が，家の建つ以前からある。作品の中の事件の発端は，Pyncheon 家からではなく，泉から総て始まる。

Nathaniel Hawthorne は，*The House of the Seven Gables* の序で，次のように述べている。"The point of view in which this Tale comes under the Romantic definition, lies in the attempt to connect a by-gone time with the very Present that is flitting away from us." [1] このことは，家よりも古くからあり，家が朽ち果てても絶えることのなさそうな Maule's Well によって象徴されているのではないだろうか。即ち Maule's Well こそ現在と過去とを結びつけているシンボルではないだろうか。もしそうだとすれば，現在と過去とはいかに関わっているのだろうか。

Maule's Well に視点を置いて，この作品を調べてみることにより，Hawthorne の Maule's Well に対する心像を探ってみたい。

第一章

泉とか小川は，*The House of the Seven Gables* 以外の Hawthorne の作品にも多く出てくる。

次から次へと湧き出てくる泉は，我々に清く，新鮮な印象を与える。Hawthorne の作品，"The Canterbury Pilgrims" にも泉が出てくる。その泉は，"blessed fountain" [2] であり，"so pure a liquid" [3] と表現されている。さらに，Hawthorne は，"The Vision of

---

1 Nathaniel Hawthorne, *The Centenary Edition of the Works of Nathaniel Hawthorne* (Ohio State Uni. Press, 1971), II, 2.

2 Nathaniel Hawthorne, *The Centenary Edition of the Works of Nathaniel Hawthorne* (Ohio State Uni. Press, 1974), XI, 120.

3 *Loc. cit.*

the Fountain" の中の泉を "a crystal spring"[4] と呼んでいる。これらの作品において Hawthorne は，泉に対して汚れがなく純粋であると同時に，幸福でもある心像を抱いていたことが窺える。

さらに，Hawthorne 特有の，泉，小川，湖に対する心像は，彼の作品によく使われている鏡の心像とだぶっている。その着想は，*The American Notebooks* の中に見い出され，ここで，Hawthorne は水に映った木のことを，"It was like the recollection of the real scene in an observer's mind, ..."[5] と述べている。泉は，鏡と同様に物を映すものであり，見る人の回想を映し出すものである。すなわち，水は観察者の気持を反映するものとして捉えられている。

又，"Minister's Black Veil"（第四章で詳しく述べる）の中にも泉が出てくる。ここでも，泉は鏡と同意義で，物体を映すものとして使われている。しかし，単に物体を映すだけではなく，牧師の罪という隠れた真実をも映し出すものであると言える。

ところで，Hawthorne は作品の着想を記した，*The American Notebooks* の中で，子供の頃自分の顔を見るために古い井戸を，しばしば覗いたものであると述べている。

> The well of the old house, out of which I have often drunk, and over the curb of which I have peeped, to see my own boy-visage closing the far vista below, seems to be still in use for the new edifice.[6]

The House of the Seven Gables の Clifford も Hawthorne と同じように，古い七破風の屋敷の庭にある井戸を覗くことを楽しみにしていた。Clifford が，そこで見たものは，陰惨な過去を象徴した顔と，それと並んで，明るさを取りもどし始めた Clifford の魂の象徴とも言うべき美しい顔であった。Clifford が井戸の中を覗いた時，彼は，暗い過去ではなく，幸福に満ちた未来の姿を見ることを願望していたのではなかろうか。前出の Hawthorne の作品の "The Vision of the Fountain" では，主人公が，泉に映った姿を見て，"the emblem of Hope"[7] と言っている。Hawthorne は，Clifford にも希望の象徴を見せようとの意図を持って井戸を覗かせたのではあるまいか。

---

4 Nathaniel Hawthorne, *The Centenary Edition of the Works of Nathniel Hawthorne* (Ohio State Uni. Press, 1974), IX, 213.

5 Nathaniel Hawthorne, The *Centenary Edition of the Works of Nathaniel Hawthorne*, ed. Clause M. Simpson (Ohio State Uni. Press, 1972), VIII, 158.

6 *Ibid.*, p. 276.

7 Hawthorne, *The Centenary Edition of the Works of Nathaniel Hawthorne*, IX, 216.

第二章

Daniel Hoffman は *The House of the Seven Gables* について，次のように述べている。

> Maule's Well is the fountain that fouls Eden in the New World. In *The Scarlet Letter* Hawthorne had explored the themes of original sin, retribution, and redemption. In *The House of the Seven Gables* his version of the myth of the Fortunate Fall dramatizes expulsion from Eden and the visiting upon the sons of the sins of their fathers. [8]

Hoffman は Hawthorne のテーマの一つである "Fortunate Fall"（罪はむしろ，その後の苦しみを経ることによって，人間を一層高める）が，罪を犯した人の子孫に現われていると言っている。すなわち Hawthorne は，"originae sin"（原罪），→ "retribution"（罪の報い）→ "redemption"（罪のあがない）→ 希望のラインのうちで，罪が希望に転化することを，この作品において強調しているのである。そして，その "Fortunate Fall" のテーマは，この作品における Hawthorne の Maule's Well の取扱いにも一貫して見うけられる。

The House of the Seven Gables における "original sin" とは Colonel Pyncheon が異常なまでの貪欲さから，Matthew Maule を処刑したことである。現在，七破風の屋敷が建っている敷地には，約二世紀も前に Matthew Maule の小屋が建っていた。Matthew Maule は泉があったために，村の中心からは遠すぎたにもかかわらず，そこに小屋を建てた。その泉は "a natural spring of soft and pleasant water — a rare treasure on the sea-girt peninsula" [9] であった。ところが，町が発展していくにつれて，この泉は当時の有力者であった Colonel Pyncheon の目には，非常に望ましい宝のように映った。己が欲する物は何でも鉄のようなエネルギーを持って，手に入れようとする Colonel Pyncheon は，泉のある Mattew Maule の土地と，それに隣接した土地を政府の認可証を楯に要求した。

この紛争は，Matthew Maule の死刑によって，泉と土地が Colonel Pyncheon の手に入り決着がついた。Matthew Maule は魔法使いの罪によって処刑されたのである。彼の死刑宣告は，あの泉を非常にほしがっていた Colonel Pyncheon によって熱烈に要求された。こうして Colonel Pyncheon は泉を手に入れたいという貪欲から，Matthew Maule を処刑してしまうという非道な罪を犯したのであった。

---

8 Daniel Hoffman, *Form and Fable in American Fiction* (New York: Oxford Uni. Press, 1970), p. 189.

9 Hawthorne, *The Centenary Edition of the Works of Nathaniel Hawthorne*, II, p. 6.

第三章

祖先の犯した "original sin" は Hawthorne が *The House of the Seven Gables* の序で，"the truth, namely, that the wrong-doing of one generation lives into the successive ones, and, divesting itself of every temporary advantage, becomes a pure and uncontrollable mischief" [10] と述べているように，"retribution" として子孫にまで影響を及ぼしている。

ここで Hawthorne が述べている "retribution" は Maule の呪として作品に現われている。Matthew Maule は Colonel Pyncheon に向かって，"God will give him blood to drink！" [11] と予言の口葉を叫んで死んでいった。そしてこの呪は後に，世間の人々に，"a part of the Pyncheon inheritance" [12] と言われるほど続々と，子孫に降りかかっていく。

Maule の呪となった祖先の罪の結果は Pyncheon 家の人々ばかりでなく，Maule's Well にも影響を与えている。この点については，Richard Hater Fogle も，*Hawthorne's Fiction: The Light & the Dark* の中で語っている。[13]

Maule's Well に関する "retribution" とは，Maule's Well の水は清く，美味なものであったが，硬水に変化したばかりでなく有害なものと変わってしまったことである。Matthew Maule の死後，Colonel Pyncheon は，Matthew Maule の小屋が建っていた "an quiet grave" [14] と噂された場所に七破風の屋敷を建てた。"Why should Colonel Pyncheon prefer a site that had already been accurst？" [15] と人々は口々に言った。すると，不思議な，又，不吉なことに，あの新鮮な泉の水は，ちょうど，Matthew Maule の予言の "blood to drink" となったかのごとく，芳しい味を完全に失ってしまったのである。

> ...it is certain that the water of Maul's Well, as it continued to be called, grew hard and brackish. Even such we find it now; and any old woman of the neighborhood will certify, that it is productive of intestinal mischief to those who quench their thirst there. [16]

約二世紀後の十七世紀の現在でもその泉の水は，Matthew Maule の呪が掛けられたまま，

---

10 *Ibid.*, p. 2.
11 *Ibid.*, p. 8.
12 *Ibid.*, p. 21.
13 Richard Harter Fogle, *Hawthorne's Ficton: The Light & the Dark* (Norman: Uni. of Oklahoma Press, 1975), p. 164.
14 Hawthorne, *The Centenary Edition of the Works of Nathaniel Hawhtorne*, II, 9.
15 *Loc. cit.*
16 *Ibid.*, p. 10.

相変わらず変質したままである。Matthew Maule の子孫の Holgrave は，今では古くなってしまった七破風の屋敷の庭で，Colonel Pyncheon の子孫の Phoebe に次のように言う。

> "Be careful not to drink at Maule's Well!" said he.
> "Neither drink nor bathe your face in it!"
> . . . . . .
> ..., "because, like an old lady's cup of tea, it is water bewitched!" [17]

ところで，Hawthorne は "Egotism; or, The Bosom-Serpent" の中で別の泉について，"How strange is the life of fountain, born at every moment, yet of an age coeval with the rock, and far surpassing the venerable antiquity of a forest!" [18] と述べている。泉は刻々と新しい水を湧き出すが，同時に，年月を経てきた岩と同じくらい古い。つまり，現在の新しい水と，過去の古い岩が，泉において共存しているのである。

Maule's Well についても，これと同じようなことが言える。Maule's Well の水は常に湧き出て新しくされているが，一方では，二世紀も前に犯された祖先の罪の結果の呪を受け継いでいる。すなわち，過去が現在の中に生きている Maule's Well は，過去と現在の接点であると言える。

過去が現在の中に生きているという Hawthorne の思想を，Holgrave が作品の中で，"'Shall we never, never get rid of this Past!'.... 'It lies upon the Present like a giant's dead body!'" [19] と語っている。又，"The Custom House" の中でも，"the past was not dead" [20] と述べられている。

第四章

Colonel Pyncheon の罪の "retribution" は，人物においては特に Clifford に具現されている。Colonel Pyncheon の罪が代々受け継がれて，Judge Pyncheon に再現され，Judge Pybcheon は，Clifford に無実の罪を押しつけた。彼は無罪にもかかわらず，社会から隔絶され牢獄で孫独に暮らさなければならなかった。このことは "retribution" の一つの現れである。

牢獄から釈放された現在でも Clifford は，まだ Colonel Pyncheon の罪の "retribution"

---

17 *Ibid.*, p. 94.

18 Nathaniel Hawthorne, *The Centenary Edition of the Works of Nathaniel Hawthorne* (Ohio State Uni. Press, 1974), X, 281.

19 Hawthorne, *The Centenary Edition of the Works of Nathanicl Hawthorne*, II, 182,

20 Nathaniel Hawthorne, *The Centenary Ediiton of the Works of Nathaniel Hawthorne* (Ohio State Uni. Presi, 1971), I, 27.

から解放されていない。Clifford は，Maule's Well の底に敷きつめられた玉石に，不思議な霊のような姿が現れるのを見ることができる。彼には，"beautiful faces, arrayed in bewitching smiles"[21] が見える時もある。しかし時には，"The dark face gazes at me!"[22] と言って，その後一日中惨な気持になることもある。Clifford の見るこの姿について Hawthorne は，"his fancy ... created shapes of loveliness that were symbolic of his native character, and now and then a stern and dreadful shape, that typified his fate."[23] と説明している。

Maule's Well に現れた彼の呪われた運命の象徴とも言うべき陰気な顔とは，Pyncheon 一家の呪われる原因を作ったあの Colonel Pyncheon の顔である。Clifford は，Colonel Pyncheon の肖像画を見て，"It was the devil genius of the house! — my evil genius particularly!"[24] と叫んでいる。

ところで，水に反映された姿は鏡の場合と同様に，たとえ映像は実体でなくとも単なる虚像ではない。Hawthorne は *The American Notebooks* の中で，映像は魂に最も近いもので現実の反映である，と思わざるを得ないと語っている。

> I am half convinced that the reflection is indeed the reality — the real thing which Nature imperfectly images to our grosser sense. At all events, the disembodied shadow is nearest to the soul.[25]

Clifford の見る Maule's Well に映し出された姿は，映像といえども，過去と現在の事実が各々反映されたものであり，彼の内面にあるものが映されたのである。すなわち，映った姿は，彼の魂に最も近いものであり，彼の心の真実の反映である。

さらに，物体と影の関係の如く事実が存在するから，水又は鏡における映像も存在するのである。"The Minister's Balck Veil" では，自分の罪を意識した主人公の牧師は姿を映す鏡や泉を避けようとする。"... he never willingly passed before a mirror, nor stooped to drink at a still fountain, lest, in its peaceful bosom, he should be affrighted by himself."[26]

---

21 Hawthorne, *The Centenary Edition of the Works of Nathaniel Hawthorne*, II, 154.
22 *Loc. cit.*
23 *Loc. cit.*
24 *Ibid.*, p. 111.
25 Hawthorne, *The Centenary Edition of the Works of Nathaniel Hawthorne*, VIII, 360.
26 Hawthorne, *The Centenary Edition of the Works of Nathaniel Hawthorne*, IX, 48.

牧師のこのような態度は，彼の罪はあまりにも恐ろしいものであるから，全く隠すわけにはいかないのであろうと，人々に噂される原因となる。牧師が泉を避けたのは，たとえ内面的な罪であっても，罪を犯したという事実があったから，それが，泉に映るのを恐れたためである。

Clifford が，Maule's Well に映った姿を見ることができたのは，"The Minister's Black Veil" の牧師の場合とは多少異なるが，祖先が過去に罪を犯したという事実からくる罪の意識，すなわち「過去感」が，Clifford にあったからである。さらに Clifford は，Colonel Pyncheon の犯した罪の結果の "retribution" を受けてきた。祖先の犯した罪の災が，Clifford に降りかかっているという事実があったからこそ，彼には井戸に映った Colonel Pyncheon の姿や，過去の事実の影響を受けている現在の，彼の内面を象徴する顔が見えたのである。

ところが，Phoebe も Clifford と同様に，Colonel Pyncheon の子孫ではあるが，彼女には Pyncheon 以外の血も混じっているせいか，祖先の罪の結果の "retribution" は影響していない。彼女は Maule's Well に象徴される Maule の呪とは全く無関係であるために，井戸の中に何も見ることができなかったのである。

第五章

Judge Pyncheon の死は，Clifford を元気づけ，彼を幸福にした。又，この死を契機にして，Holgrave と Phoebe は結婚の約束をし，彼等と Clifford と Hepzibah さらに，Uncle Venner は幸せに暮らすことになる。"... there is scarcely one-none, certainly, of anything like a similar importance — to which the world so easily reconciles itself, as to his death."[27] とあるように，Colonel Pyncheon にそっくりな，Judge Pyncheon の死によって，Maule の呪が解かれたために，彼等に幸せが訪れたのである。すなわち，これは罪の一種の "redemption" である。

Maule's Well にも Judge Pyncheon の死と共に，"redemption" が訪れる。Judge Pynceon が七破風の屋敷で急死したことによって，Clifford と Hepzibah は屋敷から汽車に乗って逃げ出す。汽車の中で，Clifford は人が変わったように興奮して，ある一人の乗客に彼の思想を語る。その乗客から，彼の言動が不審に思われた時，Clifford は，"And yet, my dear Sir, I am as transparent as the water of Maule's Well!"[28] と答える。Maule's Well の水は Colonel Pyncheon が屋敷を建てた時以来変質してしまって，飲料に

27 Hawthorne, *The Centenary Edition of the Works of Nathanicl Hawthorne*, II, 309.
28 *Ibid.*, p. 265.

は適さなかったはずである。ところが，この時，Clifford も Maule's Well の水も，もとのように透明にもどっていた。Maule's Well の水は，呪われて，"blood to drink" であったが，再び water to drink にもどったのである。

さらに，Judge Pyncheon の死後は，Maule's Well の水に対する Holgrave の言葉も変わってくる。Holgrave は，Uncle Venner が持ってきたアリスの花束を見て，"... the water of Maule's Well suits those flowers best."[29] と言う。以前は，Phoebe に，Maule's Well の水を飲んでもいけない，それで顔を洗ってもいけないと言っていた Holgrave がこのような言葉を漏すようになる。このことは，明らかに水見身が変化したことを示している。

このように Maule's Well の水が清く，透明にもどったということは，Judge Pyncheon の死によって罪の "retribution" から解放され，"redemption" が，Maule's Well にもたらされたことを意味する。

又，これまで，過去の罪人の Colonel Pyncheon の姿を映していた Maule's Well は，Colonel Pyncheon の死後，Hepzibah, Clifford, Holgrave それに Phoebe の未来の幸福な運命を映し出す井戸となる。

> Maule's Well, all this time, though left in solitude, was throwing up a succession of keleidoscopic pictures, in which a gifted eye might have seen fore-shadowed the coming fortunes of Hepzibah, and Clifford, and the descendant of the legendary wizard, and the village-maiden, over whom he had thrown love's web of sorcery.[30]

"redemption" の訪れた Maule's Well は，幸福な人々の姿を映し出して，呪われた泉から，希望の泉へと変化したのである。Holgrave と Phoebe が出合うのは "Maule's Well" という章の中であり，ここで彼等の愛は始まる。又，Holgrave と Phoebe が結婚し，Maule の名を継ぐ。彼等は，幸福になるだろうということを読者に暗示して，*The House of the Seven Gables* は結末を迎える。結果的に見て，Maule's Well が若者達の愛の出発点となっており，Maule の名を継いだ彼等が，幸せになるということは，Maule's Well が希望の泉となったことを象徴している。すなわち，過去においては，人々の災のシンボルであった Maule's Well が，汚れのない純粋な wishing well となり，若人達の希望に満ちた将来への出発点となったことにより，Hawthorne の "Fortunate Fall" のテーマが達成されたのであり，この泉が，過去と現在，そして未来への接点となっていることを意味するものである。

---

29 *Ibid.*, p. 288.
30 *Ibid.*, p. 319.

参 考 文 献

Texts

Hawthorne, Nathaniel. *The Centenary Editon of the Works of Nathanel Hawthorne*. Vols I, II, VIII, IX, X & XL. Ohio State Uni. Press, 1971-1974.

Books

Fogle, Richard Harter. *Hawthorne's Fiction: The Light & the Dark*. Norman: Uni. of Oklahoma Press, 1975.

Foffman, Daniel. *Form and Fable in American Fiction*. New York: Oxford Uni. Press, 1970.

Waggoner, Hyatt H. *Hawthorne: A Critical Study*. Cambridge: The Belknap Press of Harvard Uni. Press, 1971.